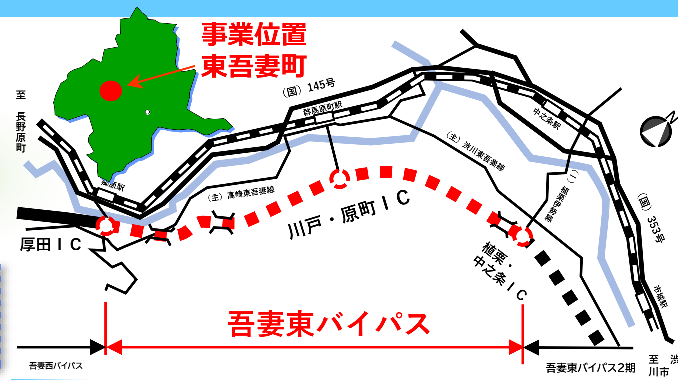
じょうしん じどうしゃどう　あがつまひがし

上信自動車道(吾妻東バイパス)　バイパス整備事業

よくわかる公共事業

事業継続中



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・吾妻は災害で通行止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・車に頼らざるを得ない地域のため、スムーズかつ安全に車で移動できるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- ■ 事業箇所:東吾妻町厚田～植栗
- ■ 事業内容:バイパス整備　延長6.4km、幅10.5m
- ■ 事業期間:平成25年度～
- ■ 緊急輸送道路:該当(第一次緊急輸送道路)
- ■ 重要物流道路:該当
- ■ 現在の交通量:9,329台/日(国道145号)(令和3年度)
- ■ 計画交通量　:13,400～16,700台/日(バイパス)
  (令和22年度): 3,200～ 9,200台/日 (国道145号)

事業前

◆現道の国道145号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなるおそれがあります。



H18.10発生の斜面崩壊状況

事業後

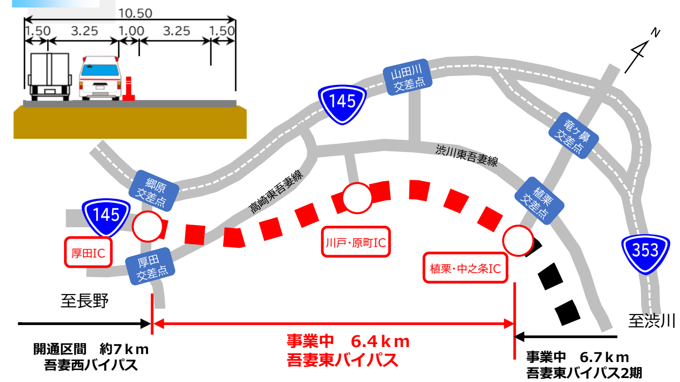
- ◆ 現道の危険箇所を回避し、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保されます。
- ◆ 高速道路に準じた速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。



事業後のイメージ
植栗・中之条IC完成後)

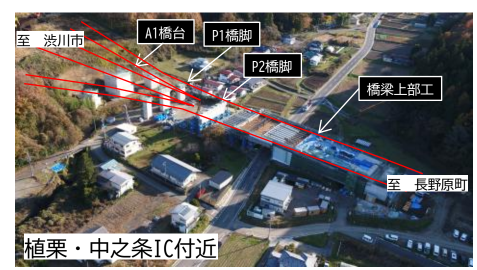
成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
急傾斜地崩壊危険区域	2箇所	バイパス完成により回避
所要時間(渋川伊香保IC～草津温泉)	約1時間30分	約1時間(30分短縮)

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は用地取得、埋蔵文化財調査、橋梁工事、道路改良工事を推進します。



植栗・中之条IC付近

事業のすすみ具合　事業開始 ●━━━━━━━━ ･････････● 事業完了